

第17回 新得町地域公共交通活性化協議会議案

とき 平成29年1月16日(月) 10:00~
ところ 新得町役場 3階 大会議室

会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - 報告第1号 経過報告 ···· 1
 - 報告第2号 平成28年6月~平成28年11月のコミュニティバス利用状況 ···· 2
- 4 議 題
 - 議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について ···· 3
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

新得町地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	分野	所属団体名等	役職	氏名	備考
1	計画策定	新得町	副町長	田中透嗣	
2	道路管理者	帯広開発建設部道路計画課	課長	瓜生和幸	
3		十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所	所長	小寺一徳	
4	公共交通事業者	北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小森明仁	
5		新得ハイヤー有限会社	社長	石畠政俊	
6		北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	小野寺康弘	
7		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高橋敏朗	
8	利用者代表	新得町商工会	会長	湯浅悟史	
9		屈足商工振興協議会	会長	竹浦隆	
10		新得町観光協会	会長	清水輝男	
11		新得町P.T.A連合会	会長	廣瀬量平	
12		社会福祉法人 新得町社会福祉協議会	会長	赤木英俊	
13		新得町女性団体連絡協議会	会長	中井由利子	
14		新得市街地区連合町内会	会長	青柳茂行	
15		屈足連合町内会	理事	片桐浅夫	
16		すこやかクラブ	会長	北敏夫	
17		報徳クラブ	会長	菅野益二郎	
18		株式会社福原 新得店	店長	原田康司	
19		株式会社福原 屈足店	店長代理	佐々木真記子	
20		新得クリニック	事務課長	福木琢也	
21		新得診療所	院長	佐藤夏子	
22		サホロクリニック	事務長	若林尚	
23	運輸局	北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	頼本英一	
24	警察	新得警察署	交通課長	伊達辰幸	
25	北海道	十勝総合振興局地域創生部地域政策課	課長	山田恭一	
	事務局長	新得町地域戦略室	室長	佐藤博行	
	事務局員	新得町地域戦略室地域戦略係	係長	東川恭一	
			主任	角谷俊明	
			主事	飯田美穂	

経過報告 (第16回協議会以降)

平成28年

- 8月31日 台風被害によりコミュニティバスの運行を休止
～9月2日
9月 3日 コミュニティバスの運行を再開
9月 7日 コミュニティバス（屈足地区早朝便）の運行方法を変更
※JR根室線運休に伴う列車代行輸送バスに合わせた運行方法に変更
9月20日 コミュニティバス（屈足地区早朝便）の運行方法を変更
※列車代行輸送バスの運行方法の変更に伴い時刻を変更
9月24日 花火大会にてコミュニティバスPR
10月17日 コミュニティバス（屈足地区早朝便）の運行方法を変更
※列車代行輸送バスの時刻変更に伴い時刻を変更
12月22日 コミュニティバス（屈足地区早朝便）の運行方法を変更
※JR根室線運転再開により運行方法を変更

平成29年

- 1月16日 コミュニティバス（屈足地区早朝便）の運行方法を変更

報告第2号

平成28年6月～平成28年11月のコミュニティバス利用状況

1. 1日あたりの乗車数

(1) 総計（新得市街地+屈足地区）<別紙1>

前年度と比較して概ね同程度の利用で推移している。目標としている乗車数を維持し続ける。

(2) 新得市街地 <別紙2>

利用状況から推測すると、西地区から東地区へ、日常の食料や日用品の買い物、通院に利用する方が多く、午前中の2便、3便を利用する方が多い。

(3) 屈足地区 <別紙3>

午前中の1便の乗車が多く、教育委員会で配布している無料乗車券を使った町営温水プールに通う児童の利用もあり、3便での降車が多い。

2. 利用の多いバス停

新得駅、フクハラ新得店、相馬商店、小松整骨院、一心の1、グループホームさくら、サホロクリニック、つつじヶ丘公園、若草会館前、西和北、新得クリニック、エーコープ前、なごみ前、温水プール、公民館前、新得郵便局、かえで西、柏町1丁目、幸町4丁目、屈足常盤、永福寺前、屈足南小学校裏門前、親友北、屈足22号、屈足総合会館前、第2新進、新友2など

3. 屈足早朝便の利用状況

1便については、平成28年7月より運行を開始しており、屈足から帯広方面の高校へ通う学生のうち、早朝の部活動に参加する学生の利用により、最大で3名が利用している。

2便については、屈足から帯広方面の高校へ通う学生の利用が多く、最大で9名が利用している。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

協議会名：新得町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
北海道拓殖バス株式会社	新得市街地線 1日5便 (JR新得駅前～新得公民館前～JR新得駅前) 屈足地区線 1日3便 (JR新得駅前～屈足総合会館前～JR新得駅前)	A 事業計画に位置付けた目標の達成、利用促進のため、バスの周知・PRを継続して実施した。	A 計画通り、事業は適切に実施された。	A 乗車人数については、利用の実態を踏まえた目標値とするにによって、目標乗車人數20.6人/便(4月～11月)に対し27.1人、26.9人/便(12月～3月)に対し29.0人と目標を達成することができた。 ○詳細 4月～11月(積雪のない期間) 新得市街地→12.8人/日 [に対して、14.1人/日 屈足地区→7.8人/日] 12月～3月(積雪のある期間) 新得市街地→18.4人/日 [に対して、17.1人/日 屈足地区→8.5人/日] して、11.9人/日	A バスの周知・PRの継続や、町民の意見を反映した路線の再検討などによって、より身近なフィーダー交通として維持していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名：	新得町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内ファイダース系統確保維持費国庫補助金
<p>新得町は、北海道の重心に位置しており、面積1063.83km²、人口は平成28年12月末現在で6,309人の町である。</p> <p>本町の幹線の交通については、一定の公共交通サービスが充足しているものと考えられていたが、幹線へつなげるファイダース交通がないため、住宅地と幹線や停留所に距離があり、公共交通が利用しにくい状況となっていた。</p> <p>（事業実施の目的・必要性）</p> <p>地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）</p> <p>公共交通の必要性が十分に確認されているところである。</p> <p>住民に将来にわたりて住み続けたいと思われる町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、JRや既存路線バスの地域間幹線系統と接続したファイダース交通（コミュニティバス）の確保維持が不可欠となっている。</p>	

新得町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

新得町は、北海道の重心に位置しており、面積1063.83km²、人口は平成28年12月末現在で6,309人の町である。

本町の幹線の交通については、一定の公共サービスが充足しているものと考えられていたが、幹線へつなげるファイーダー交通がないため、住宅地と幹線交通の駅や停留所に距離があり、公共交通が利用しにくい状況となっていた。

現在、コミュニティバス「そばくる」の運行により、有料にも関わらず、多くの方に利用いただいている。

住民の移動手段としての公共交通の必要性が十分に確認されているところである。

住民に将来にわたって住み続けたいと思われる町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、JRや既存路線バスの地域間幹線系統と接続したファイーダー交通（コミュニティバス）の確保維持が不可欠となっている。

地域公共交通の現況

- ・JR石勝線（新得駅）
- ・JR根室本線（新得駅）
- ・北海道拓殖バス（株）（町内1路線）
- ・スクールバス（5路線）

生活交通確保改善計画の目標

- (1) 目標
4月～11月(積雪のない期間)・新得市街地→12.8人/日・屈足地区→7.8人/日
12月～3月(積雪のある期間)・新得市街地→18.4人/日・屈足地区→8.5人/日
- (2) 効果
自家用車を持たない、または利用できない高齢者等の交通弱者の通院や買物等を目的とする生活交通が確保され、公共交通の足進を図る。
幹線交通とファイーダー交通の連携を強化することにより、公共交通の利用拡大を図り、安全で安心して暮らせる交通環境を確保する。

協議会開催状況

- 平成28年1月18日 協議会を開催
・地域内ファイーダー系統確保維持計画の事業評価について
- 平成28年6月21日 協議会を開催
・地域内ファイーダー系統確保維持計画について

平成28年度事業概要

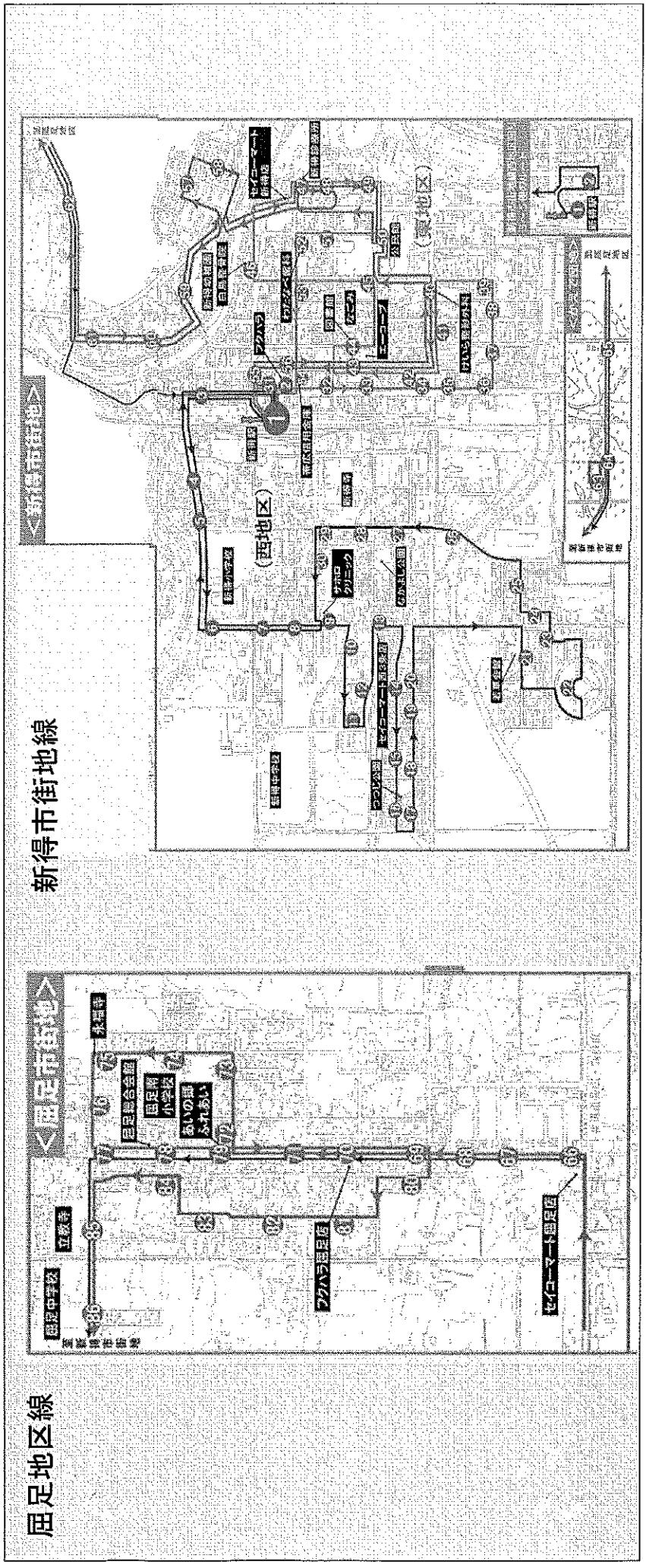
- 新得市街地線 1日5便
(JR新得駅前～新得公民館前～JR新得駅前)
屈足地区線 1日3便
(JR新得駅前～屈足総合会館前～JR新得駅前)

平成28年度事業の実施状況

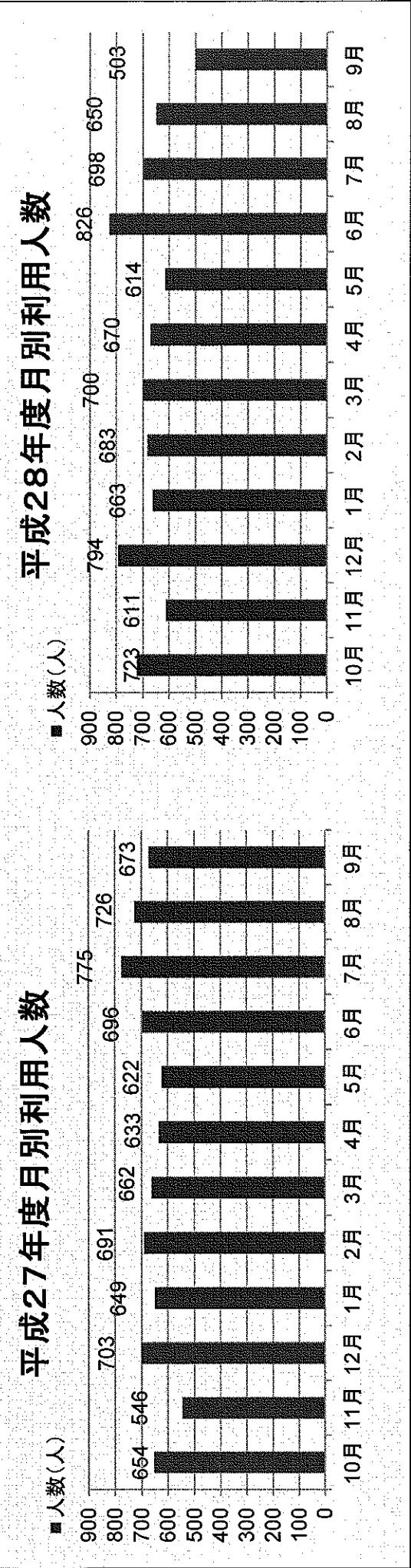
1) プロセス、創意工夫

- ・町内イベント(うまいもん温かフェア・花火大会)での運行PR
- ・スポーツ少年団支援として、スポーツ少年団員に無料乗車券の配布を実施(新得市街～屈足市街間)
- ・屈足方面から町営温水プールを利用するためには移動が必要な児童に対して無料乗車券の配布を実施
- ・屈足市街～屈足市街間(新得市街～屈足市街間)の配布
- ・ポケット時刻表の配布

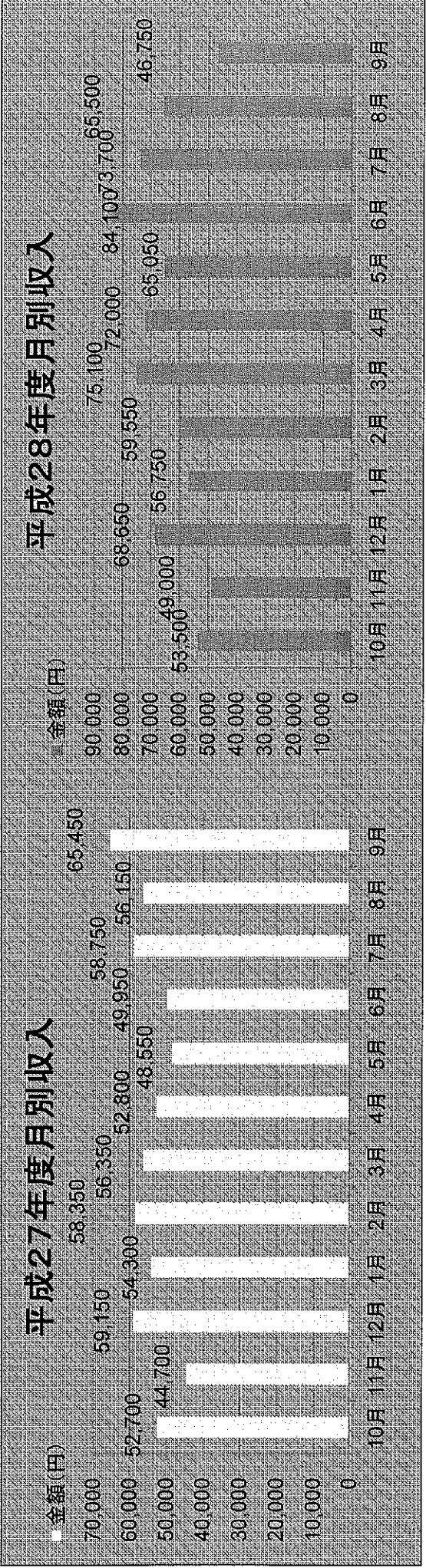
2) 運行系統



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り、事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

バスの周知・PRの継続や、町民の意見を反映した路線の再検討などにより身近なフィーダー交通として維持していく。

6) 目標・効果達成状況

乗車人數については、利用の実態を踏まえた目標値とすることで、目標乗車人數20.6人/便(4月～11月)に対し27.1人、26.9人(12月～3月)に対し29.0人と目標を達成することができた。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

○詳細
4月～11月(積雪のない期間)
新得市街地→12.8人/日に対して、14.1人/日
屈足地区→7.8人/日に対して、12.9人/日
12月～3月(積雪のある期間)
新得市街地→18.4人/日に対して、17.1人/日
屈足地区→8.5人/日に対して、11.9人/日

運輸局記載欄